

本由企調発第455号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

秋田県由利本荘市長
柳 田

弘



今後の道路行政についての意見・提案の提出について
(回答)

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のあった標記
意見について、別紙の通り回答いたしますので、ご査収下さいます
ようお願いいたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

秋田県由利本荘市

当地域における道路整備については、道路特定財源制度の活用により、活力と魅力ある地域づくりや安全で安心な地域社会の構築に成果を上げてきております。

とりわけ、道路特定財源制度を活用した無料の高規格幹線道路整備および関連道路網整備により、交流条件が改善され広大な面積を有する当地域における市民生活のセーフティネットとして非常に重要な役割を果たしており、また、市町村合併が進展した今後のまちづくりや地域間交流の促進及び災害や救急医療への迅速な対応などを図っていくためにも、道路整備の一層の推進が極めて重要であります。

しかしその一方で、平成21年度からの一般財源化へ向けた本格的な議論が始まるなど、立ち後れている地方における道路整備の遅延につながることを大きく懸念しているところであります。

市民が熱望し地域づくりの根幹をなす道路整備が推進され、地域住民の豊かな生活を実現するため、次の事項について配慮をお願いします。

- (1) 道路特定財源の一般財源化によって、私たちの生命や暮らしを支える「真に必要な」地方の道路整備が立ち後れることの無いよう、必要な道路整備は十分な予算措置のもと確実に推進すること
- (2) 地方の創意・工夫を活かした個性的なまちづくり、高度医療施設や観光施設へのアクセス改善、道路の防災・安全性の向上、増大する道路ストックの補修や更新などに大きく貢献している「地方道路整備臨時交付金制度」について、引き続き継続すること

②－１ 地域の現状と抱える課題

秋田県由利本荘市

○現状

〔１〕市の概要

○由利本荘市の誕生

～平成１７年３月２２日本荘由利１市７町が合併～

（本荘市、矢島町、岩城町、由利町、大内町、東由利町、西目町、鳥海町）

○面 積 １,２０９.０４ ｋｍ^２（東西約３２.３ｋｍ、南北約６４.７ｋｍ）

※秋田県の１０.７％、香川県の約６５％、神奈川県約５０％

○人 口 ９０,０００人

○世帯数 ２８,６００世帯

○地域の特徴

＊南に「鳥海山」（２,２３６ｍ～東北第２峰）、東に「出羽丘陵」を背し、中央を一級河川「子吉川」が貫流し、日本海に注ぐ。

＊「子吉川」は幹川流路延長６１ｋｍ。

＊山間地帯、子吉川流域地帯、日本海に面する海岸平野地帯の３地帯で構成。

＊県内では温暖な地域だが、海岸部と山間部で気象条件が異なり、特に冬季において積雪量に差（０.１０～３.００ｍ）が見られる。

本荘由利１市７町は、古くから歴史的、文化的に深いつながりを有し、一体的な発展を遂げてきました。道路網についても、国道や各市町間を結ぶ県道等主要地方道が整備されてきており、さらには車社会の著しい進展、情報通信手段の急激な発達等により、住民生活圏の広域化が顕著となっています。買い物や通勤、通学、通院等の日常生活や観光、公共施設利用等についても一体化を進めています。

○課題

日常生活圏の拡大により、地域内における住民の交流が活発化している現状において、スポーツ施設や文化施設、道路、公園等公共施設の整備、管理、運営面での効率化が求められています。

一体となった広域的なまちづくりを行い、類似施設の重複投資を避けるとともに適正な職員の配置により、財政の効率化を図ることが必要となります。

由利本荘市との面積比較



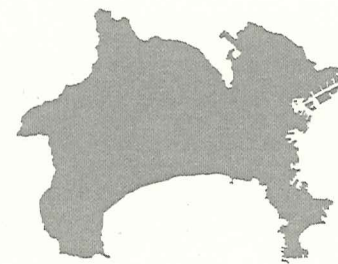
秋田県



秋田県面積(6位):
11,612.11km²

秋田県の約1/10

神奈川県



神奈川県面積(43位):
2,415.41km²

神奈川県の約1/2

香川県



香川県面積(47位):
1,875.88km²

香川県の約2/3

由利本荘市面積: 1,209.04km²

②－２ 地域の目指すべき将来像

秋田県由利本荘市

市政の主役は市民であり、市民のニーズに的確に対応した本市のまちづくりを実現するためには、常に変化を続ける経済社会情勢の動向に対処しながら、地域における行政需要の把握に努め、各分野にわたる施策・事業を総合的に推進する必要があります。

特に、市民生活や産業活動の基盤であり、観光ルートに配慮した広域的な交流を支える道路網の整備は合併新市である本市にとって重要な課題です。

道路網の整備については、首都圏への交通アクセスの改善や広域的な都市間交通の高速化による高速交通体系の整備、日本海沿岸東北自動車道や地域高規格道路の早期完成とアクセス道路の整備促進に努め、市民生活や産業活動に係わる市道の整備、地域間を結ぶ幹線道路や外環状道路の計画的な整備を促進します。

景観に配慮した道路・橋りょうの整備、安全で人にやさしい歩道・通学路の整備、除雪体制の整備と冬期間交通の確保・街路灯や街路樹の整備など、安全で快適な道路環境の整備を推進します。

また、生活路線バスの充実やコミュニティバスの運行等の公共交通の整備に努め、高度情報通信基盤の整備においては県内でも進展している地域ですが、今後さらに、CATVや光ファイバ網のエリア拡大などの整備を図るとともに、携帯電話の不感地域の解消に努めるなど地域が一体となったインフラ整備を図ります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

秋田県由利本荘市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
①地方における産業・経済等競争力の強化	・日本海沿岸東北自動車道建設促進 (秋田、山形の県境部分) ・地域高規格道路の整備促進	地方における高速交通ネットワークの整備実現により、大都市と地方の産業・経済等の交流が拡大し、地方の自立的発展につながる。広域救急体制の整備充実、安全な食(国産)の流通拡大、渋滞解消に伴うCO₂削減に効果が期待される。	
②安全・安心な交通環境の整備による生活基盤の強化	・国道105号・107号・108号改良整備促進 ・国道341号・398号改良整備促進 ・主要地方道・一般県道改良整備促進	広域的な社会交流や物流を担う地方幹線道路については、その沿線住民の日常生活にも不可欠であり、交通の利便性と安全性を向上させるために改良整備の必要な箇所がまだまだ多いため、県が実施する道路事業に対する財源の確保を期待する。	
③子供や高齢者に優しく冬季交通に配慮した道路環境づくり	・市道拡幅改良事業 ・市道歩道設置事業 ・市道橋梁架替・改修事業 ・市道防風柵設置事業 ・市道消融雪施設設置事業	地域に密着し、市民の日常生活に不可欠である市道の改良整備については、地方道路整備臨時交付金を活用し、安全な車の交通環境はもとより子供からお年寄りまで安心して利用できる道づくりに努めているが、市の財政状況においては維持管理経費や除排雪費を含めた一般財源の確保に苦慮している。 今後、市道改良整備促進に伴う財源確保のため、国の道路特定財源の確保による地方道路整備臨時交付金のさらなる交付率の増を期待する。また、冬季交通における安全・安心の確保のため除排雪経費に対する助成制度の創設を期待する。	